改訂日: 2024年3月6日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 推奨用途

会社名

住所

電話番号

二硫酸カリウム

試験研究用

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555 (大阪・本社)

(03)3246-2311 (東京) (0268)22-5910 (上田)

(052)504-2221 (名古屋) (082)537-0290 (広島)

CB2051

2. 危険有害性の要約

GHS分類

整理番号

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:区分1

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分1

*記載のないものは「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険有害性情報 注意書き 危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

【安全対策】

粉じんまたはミストを吸入しないこと。

保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(または毛)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて 脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

化学物質

 $K_2S_2O_7$

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業

者に業務委託すること。

該当情報なし。

他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名又は一般名

別名 化学式 CAS RN 含有量

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

GHS分類に寄与する不純物及び安定化化合物

その他

7790-62-7 98%以上(乾燥後)

二硫酸カリウム

ピロ硫酸カリウム

該当情報なし HSコード: 2833.29

-

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

予測できる急性症状及び遅発性症状 の最も重要な兆候症状 応急処置をするものの保護 医師に対する特別な注意事項

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤 特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 (局所排気、全体換気等)

安全取扱注意事項

接触回避衛生対策

保管

安全な保管条件 容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 許容濃度

日本産業衛生学会

ACGIH 設備対策

保護具

呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 中虚及び息体の保護

皮膚及び身体の保護具

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断を受けること。

口をすすぐこと。

直ちに医師の診断を受けること。

該当情報なし。

該当情報なし。該当情報なし。

不燃性である。周辺の状況や火災の状況に応じて適切な消火剤を使

用する。

該当情報なし。

火災時に、刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出するおそれ

がある。

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。不可能な場合は周辺

に水をかけ冷却する。

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用す

る。

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を 退避させる。

河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器等に回収する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

洗眼器と安全シャワーを設置すること。

吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具

を着用すること。

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させな

い。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴

な扱いをしない。

高温多湿の雰囲気を避け慎重に扱うこと。

湿気,熱

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

直射日光を避け、換気のよい涼しい場所に密封して保管すること。

ポリプロピレン、ポリエチレン

未設定

未設定未設定

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設

置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

防塵マスクを着用する。

ゴム手袋を着用する。

保護眼鏡やゴーグルを着用する。

保護衣、保護エプロン等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 色

臭い 融点·凝固点

沸点又は初留点及び沸点範囲

可燃性

爆発下限界及び上限界/可燃限界

引火点 自然発火点 分解温度

На 動粘性率 溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度 粒子特性

10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性

> 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質

危険有害な分解生成物

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回暴露) 特定標的臟器毒性(反復暴露)

吸引性呼吸器有害性

12. 環境影響情報

生態毒性

残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性

オゾン層への有害性

13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号

品名(国連輸送名) 国連分類

容器等級 国内規制

陸上輸送

海上輸送

航空輸送

固体又は粉末

白色

該当情報なし。 約325°C

該当情報なし。

不燃性

不燃性 不燃性

不燃性

該当情報なし。

強酸性 (水溶液)

該当情報なし。

水に可溶

該当情報なし。

該当情報なし。

2 28

該当情報なし。

該当情報なし。

通常の取扱い条件下では安定である。

潮解性がある。水に溶けて硫酸水素カリウム溶液となる。

該当情報なし。 日光, 熱、湿気

強酸化剤, 強還元剤, 強塩基

イオウ酸化物、カリウム酸化物

該当情報なし。

皮膚腐食性がある。

眼に対して腐食性がある。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。 該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

急性: 該当情報なし。

長期間: 該当情報なし。 該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこ

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方 公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する

こと。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の

基準に従って適切な処分を行うこと。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

CORROSIVE SOLID, ACIDIC, INORGANIC, N. O. S.

8

Π

該当情報なし。

船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

応急措置指針番号

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

毒物及び劇物取締法

消防法

労働安全衛生法

船舶安全法 航空法

16. その他の情報 参考文献 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

まりに傾か込み、何朋化の防止を催失に打 重量物を上積みしない。

154

該当しない。 該当しない。 該当しない。

名称等を表示し、又は通知すべき有害物[施行令別表9]に該当しな

い。

腐食性物質 腐食性物質

Merck Index 14th

The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data 17423の化学商品

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。